

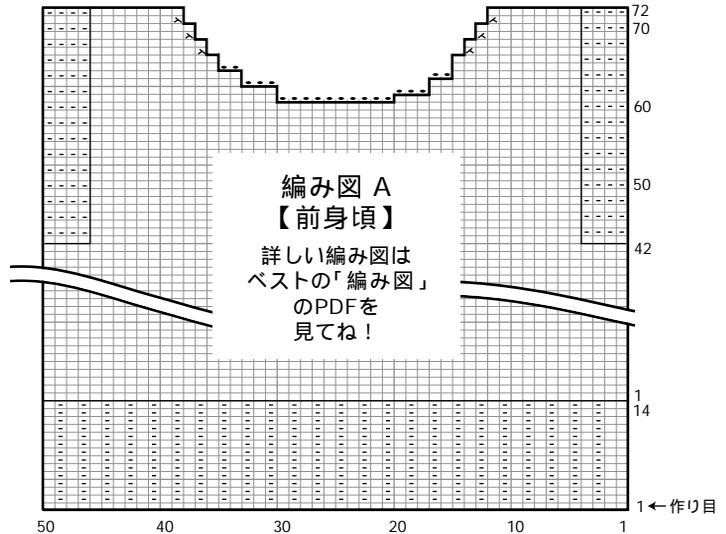
前身頃を編みます。

後身頃と同じ要領で前身頃を編みます。
肩の部分が後身頃と違いますが、
応用として編み進めていきましょう。

ベストAの編み図

□ 表目 □ 裏目 ● 伏せ止め
△ 右上2目1度 ◁ 左上2目1度

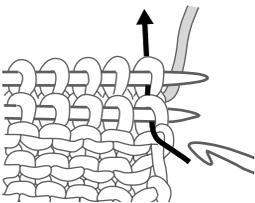
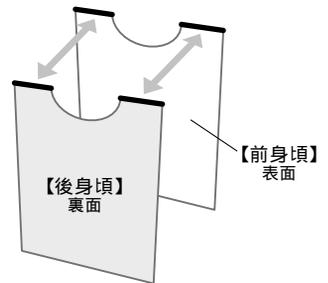
毛糸の種類によって、
ベストの編み図はAとBの2種類あります。
(PDF参照)



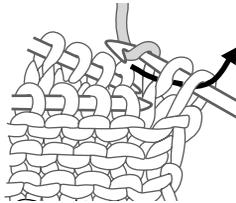
前身頃と後身頃の肩をつなぎます。

前身頃と後身頃を中表にし、かぎ針を使う引き抜きはぎで肩をつなぎます。

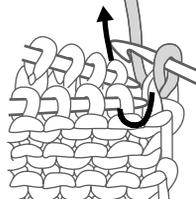
引き抜きはぎ ... 肩の部分の目と目をつなぐことを「はぎ」といいます。



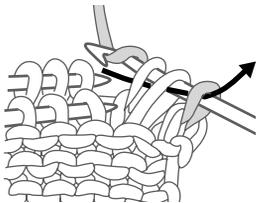
1 前後の肩を中表にして持ち、かぎ針で後身頃の肩の糸を使ってはぎ合わせます。



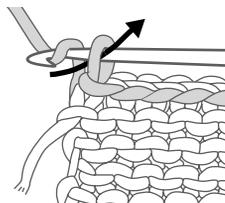
2 前後の肩から1目ずつ取り、かぎ針に糸をかけて引き抜きます。



3 次の目も矢印のようにかぎ針を入れて1目ずつ取ります。



4 かぎ針にかかっている3目を引き抜きます。以後は同じ要領で最後まで引き抜きます。



5 最後は糸端を引き抜いて引きしめます。

ベストに使うクロバーのあみ針 2

かぎ針「ペン-E」
10/0号

親指の当たる部分をソフトな感触に仕上げた、長く編み続けても疲れない指にやさしいかぎ針です。

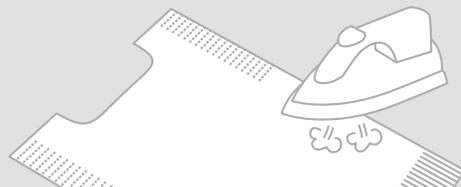
クロバー
かぎ針
10/0号

長年愛されてきた軽くて編みやすい金属製のかぎ針です。



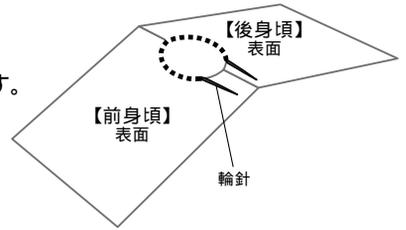
身頃は仕上がったけれど、編み地がまるまっちゃう。どうしよう？

編み地に、2~3cm浮かした状態でスチームアイロンをかけます。編み目やまるまった端目が整うので、とじなどがスムーズになり、仕上がりに差が出ます。



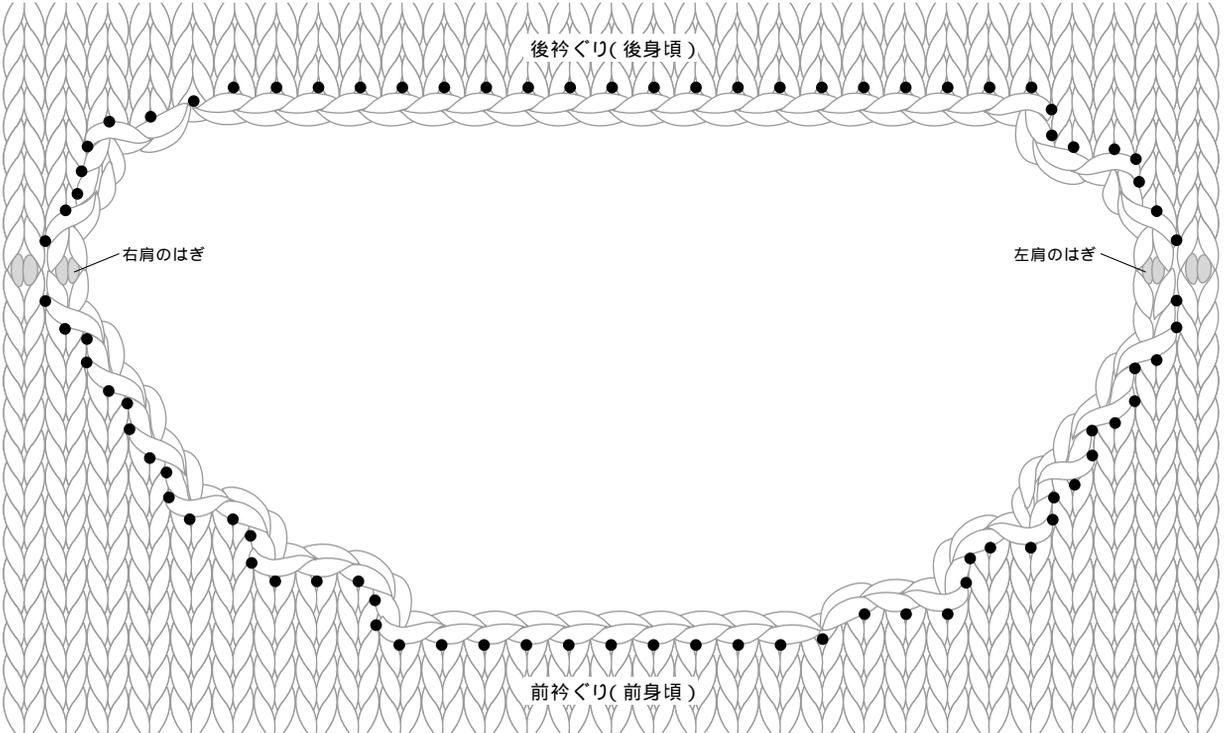
衿の目を拾います。

肩をつないだ前後身頃を表に返して新しい糸をつなぎ、衿ぐりを輪針で拾います。

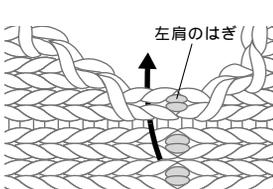


衿の目の拾い目位置

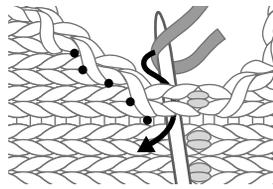
が拾い目位置になります。左肩のはぎ位置から、前衿ぐりより48目、後衿ぐりより36目拾います。



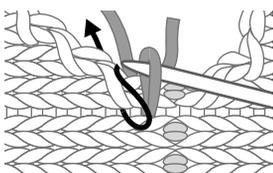
拾い目の方法



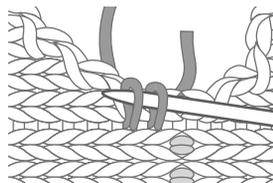
1 左肩のはぎ位置から輪針で拾います。



2 矢印の方向に針を入れ、の位置で糸を引き出します。



3 ひと目できた状態です。



4 次も同様に目を拾います。

ベストに使うクロバーのあみ針

輪針「匠」
短40cm
ジャンボ7・8mm

輪針
短40cm
ジャンボ7・8mm

表面についた油分ですべりやすい動物性繊維の毛糸に。編み心地がよくスイスイ編めます。

すべりの悪い化学繊維の毛糸に。なめらかなプラスチック製で手早く編めます。

